

北海道阿寒高等学校との意見交換会 結果概要

1 開催日時及び場所

日時 2026 年（令和 8 年）7 月 15 日 15 時 40 分～16 時 30 分

場所 北海道阿寒高等学校

2 参加者

(1) 北海道阿寒高等学校	生徒 5 名及び校長先生
(2) 議会広報広聴特別委員会	板谷 昌慶 委員長
	夏堀 めぐみ 副委員長
	藤井 若菜 委員
	松原 慶子 委員
	小山 秀人 委員

3 意見交換会の主な内容

(1) 学校生活について

【生徒の声】

- ・ 少人数教育の特色を生かし、学年を超えた交流が盛んで、学校全体の雰囲気が良い。
- ・ 先生との距離が近く、一人ひとりを丁寧に見守ってくれる。
- ・ 「勉強部」では、生徒約 5 人に対して先生 3 人が付き、きめ細かな学習支援を受けられる。
- ・ 中学校時代は学校へ行くことが難しかったが、阿寒高校では毎日楽しく通学できている。
- ・ いじめはなく、安心して学校生活を送ることができている。
- ・ 一方で、少人数校であるため文化祭の規模には限りがあり、大人数の学校で実施している行灯制作など、大規模な学校行事も経験してみたいという声があった。

【議員からの回答・意見】

少人数教育だからこそ実現できる手厚い教育や、生徒一人ひとりに寄り添う支援体制は阿寒高校の大きな魅力です。一方で、生徒からは大規模校ならではの学校行事や多様な活動を経験してみたいとの声も聞かれました。少人数校の良さを大切にしながら、他校との交流や合同イベントなど、生徒の経験の幅を広げる取組についても検討していくことが重要であると考えます。

（２）地域活動・ボランティアについて

【生徒の声】

- ・ 福祉運動会や花壇整備、ふるさとまつりなど、地域の方々と一緒に活動している。
- ・ 地域との交流を楽しみながら参加している。

【議員からの回答・意見】

地域とのつながりを大切にする活動は、地域への愛着や郷土愛を育む重要な取組です。学校・地域・行政が連携し、今後も活動を支えていくことが重要であると感じました。

（３）通学・交通について

【生徒の声】

- ・ 登校時の路線バスが混雑しており、スクールバスの導入を望む。
- ・ 阿寒湖畔から通学する生徒（約 10 名）は、定期代が月約 4 万 4 千円と高額である。
- ・ 通学費助成制度はあるものの、数か月分まとめて支給されるため、毎月支給にしてほしい。
- ・ 阿寒湖畔方面の帰りのバスは 15 時台と 18 時台のみで、15 時便は間に合わず、18 時便では約 2 時間待つことになるため、17 時台の運行を希望する。
- ・ 冬季は日没後の通学路に街路灯が少なく、防犯上の不安がある。
- ・ マイパスの対象区域外となる大楽毛～阿寒町間は通常定期券を利用しており、利用範囲の拡大を望む。
- ・ バス停が一つ違うだけで追加料金が発生するため、学生が利用しやすい制度にしてほしい。

【議員からの回答・意見】

通学環境は、安心して学び続けるための重要な基盤です。通学費の負担軽減や支援制度の改善、バスダイヤの見直し、防犯対策としての街路灯整備などについては、関係機関と課題を共有しながら改善に向けた検討が必要であると考えます。

（４）放課後の過ごし方について

【生徒の声】

- ・ 放課後はアルバイトをしている生徒も多く、地域の店舗や施設で働いている。
- ・ 公民館など Wi-Fi が利用できる施設で勉強や友人との交流をしている。
- ・ 学校内にも Wi-Fi 環境がほしい。
- ・ バスを待つ時間が長く、公民館やトレーニングセンターを利用して時間を過ごす。

している。

- 徒歩圏内に学生が気軽に立ち寄れる飲食店や遊べる場所が少ない。
- コンビニで軽食を買い、公園で過ごすこともある。
- カフェ&地域交流スペース「Fuu.」は、男子生徒は利用しやすい一方、女子生徒は入りづらいと感じている。
- 地域のイベントや飲食店などの情報は、友人同士の口コミや Instagram などの SNS で知ることが多い。

【議員からの回答・意見】

放課後を安心して過ごせる居場所づくりは、若者の定住や地域への愛着にもつながる重要な視点です。公共施設の活用や Wi-Fi 環境の整備に加え、若者が気軽に集い交流できる環境づくりについて、地域とともに検討していく必要があります。

（５）将来の進路について

【生徒の声】

- 進学希望 ２名
- 市内就職希望 ２名
- 未定 １名
- 一度は進学や就職で地域を離れても、将来は釧路へ戻ってきたいという声もあった。

【議員からの回答・意見】

地域への愛着を持ちながら「いつか戻ってきたい」と考える若者がいることは大変心強く感じました。将来、安心して働き暮らせる環境づくりを進めることが、地域の持続的な発展につながるものと考えます。

４ 参加者の感想

（１）生徒A

今回の、阿寒を語る会では、市議会議員の方々と様々な阿寒に関するお話ができて、とても有意義な時間だったと感じました。市議会の方とお話するせっかくの機会だったので、前々から気になっていた釧路市に関する質問もすることができて良かったです。また、会議中に教えてくださった議会だよりにも目を通してみたいです。今回はお忙しい中、貴重なお時間を頂き、ありがとうございました。

（２）生徒B

先日は議員のみなさんとお話する機会をいただけてすごく良いお時間でした。お

話すまでは、すごく緊張していたのですが、お話を始めるとみなさんすごく優しく話しくすくてすぐに緊張がほどけました。阿寒高校の良さや困っている事などをお話することができてすごく良かったです。

今回、困っていることなどを相談させていただいて、少しでも何か困っていることが改善されていけば良いなと感じました。すごく貴重なお時間をいただけて良い経験となりました。

(3) 生徒C

阿寒町をよりよくする話をできてよかったです！

実現できると嬉しいです！

(4) 校長先生

まずは、存続の危機にある阿寒高校に注目していただき、このような機会をいただいたことに深く感謝です。

そのことにより、地域になくてはならないオンリーワンの存在を目指している本校の取り組みや魅力を、市議会議員という特別な方々に知っていただいたことに大きな意義を感じます。

さらに、そのことを参加した生徒が実感することで、自分の学校や地域への愛着や誇りそして自己肯定感にも繋がり、生徒一人一人の人生の中で絶対忘れられない時間となったはずです。

今回の企画により、本校及び地域への関心が高まり、入学生の確保そして地域の活性化に繋がることを期待しています。

5 議会広報広聴特別委員長 総括

今回の意見交換会では、阿寒高校の生徒の皆さんが学校や地域への愛着を持ちながら日々を過ごしていることが伝わる一方で、通学環境や放課後の居場所、情報発信など、地域ならではの課題についても率直な声を伺うことができました。

高校生一人ひとりが自分の考えをしっかりと持ち、将来や地域について前向きに語る姿は大変印象的であり、主体的で豊かな感性に触れる貴重な機会となりました。皆さんが抱える不安や希望は、釧路市の将来を考える上で重要な課題でもあります。

今回いただいた生きた声を真摯に受け止め、「誰も置き去りにしない教育・福祉のまち釧路」の実現に向け、今後の議会での質問や政策提言につなげてまいります。

議会広報広聴特別委員長 板谷 昌慶



（意見交換会の様子）